



坂戸市立浅羽野中学校 笑顔・感動・学び溢れる夢道場

# 浅羽野中だより『胡桃の木』

【学校教育目標】

- 学び（知）
- 鍛え（体）
- 思いやる（徳）

学校経営方針 「明るく 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和7年12月24日  
第7号 文責 鈴木 博貴

## 【実り多き浅羽野中の令和7年】『今年も大変お世話になりました』

今年も残すところあと僅か。令和7年、この一年も保護者・地域の皆様には、本校の教育に深いご理解と多大なるご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。生徒たちのたくさんの笑顔や輝く姿が見られ、健やかな成長を遂げていることを実感しております。これも皆様のお力添え無くしては叶わなかったことと深く感謝申し上げます。来るべき新年が皆様にとりまして幸多き良き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

## 〈冬休みを迎えるにあたって〉『心身の健康保持&事故ゼロ』で有意義な冬休みを！

明日から冬休み。年末年始は一年の締め括りと新しい年の門出です。テレビやゲーム・スマホ中心の生活ではなく、家族全員での大掃除やお手伝い、年末年始の行事や伝統文化の体験を通した触れ合いも大切にいただき、お子さんに「自分も家族の一員」「自分も役に立っている」といった自己存在感や自己有用感をたくさん味わわせてください。さらに、この2学期もお子さん一人一人が様々なことを頑張って成長しました。どんなことでも結構です。話をよく聴き頑張りを認め、具体的にたくさん褒めてあげて達成感や成就感を味わわせてください。大切なまとめの3学期によいスタートをきるためにも、心身の健康管理や事故防止と合わせ、引き続きのご協力をお願いします。

【第2学期終業式・校長講話より】 120日間あった2学期もいよいよ最終日です。先ほど代表生徒の皆さんからの「2学期を振り返って」の素晴らしい発表がありましたが、様々なことがあった2学期でした。全校生徒の皆さん一人一人にとって今学期はどんな学期だったでしょうか。大きな行事もありました。胡桃祭の弁論の部では、各クラスで全員が発表を行い、選ばれた代表弁士による全校発表が行われました。どれも素晴らしい内容で、様々なことを一緒に考えさせられました。合唱の部。クラス一丸となって一生懸命に練習し、本番では文化会館の大ホールで素晴らしい合唱を披露し、観衆を感動させてくれました。部活動でも3年生の先輩たちから引き継いだ2年生を中心とする新チームで、新人大会やコンクールでも優勝をはじめとし、素晴らしい成果を上げることができました。さらには、普段の学校生活でも授業に臨む姿勢や係・委員会活動等でも仲間たちと協力・切磋琢磨し合いながら懸命に取り組んでいる姿がたくさん見られました。これまで浅羽野中学校を訪れた大勢の外部の皆さんも、浅中生の頑張りをたくさん認め、褒めてくださっていました。そのような中、3年生一人一人と高校入試に向けての面接練習を行いました。中学時代に頑張ったことや高校生活への抱負などとともに、全員に質問したこと。それは、「浅羽野中学校はどのような学校ですか」。ほとんどの3年生が答えてくれた内容は、「挨拶が素晴らしい」、「学年・学級を超えて、皆がとても仲良く、協力し合っている」、「とても元気で明るく、やる時はやるといったけじめがしっかりできています」。このような回答を聴いて、校長先生も大変に嬉しかったです。是非、皆さんがつくってきた素晴らしさをこのまま継続して欲しいと思います。そして、浅中生の合言葉（＝学校教育目標）『学び、鍛え、思いやる』が浅中生のモットー『一流を目指す』のもと、より高みを目指してさらに活力と潤いのある学校になることを期待しています。

新年が明けると残り3か月、締めくくりとしての『学年のまとめの3学期』が始まります。同時に次の進学・進級に向けての大切な『準備の0学期』でもあります。これまでを振り返り、「新しい年の目標」を決めて、それに向かって努力し、成長していく皆さんを楽しみにしています。1年生は、まもなく先輩となります。今、君たちが先輩を見ているように後輩から見られる立場になります。先輩と呼ばれるにふさわしい力と逞しさをさらに身につけてください。2年生、君たちはいよいよ3年生になります。来年は最上級生として浅羽野中の「顔」となります。その自覚をもって学校づくりの中心となるような学校生活を送ってください。さらに今、君たちの横にいる3年生と同じ立場になります。自分自身の力で進路を決めねばならない時が近づいてきました。自分の人生の進路は、自分自身で切り拓いていくという自覚を持って努力してください。そして3年生。いよいよ進路決定の時を迎えました。これまで学校の中心として活躍しながら、たくさんの力を培ってきましたね。その成果をいよいよ発揮する時です。「人事を尽くして天命を待つ」。皆さんの健闘を祈るとともに最後まで応援しています。最後にこの年末年始、体調管理や交通事故等に気をつけ、また元気で皆さんとこの場で会えることを楽しみにして、2学期の式辞とします。

## 『全国人権作文コンテスト』最優秀賞！

本校の代表生徒による人権作文が、この度、『全国中学生人権作文コンテスト・埼玉県大会』で最優秀賞を受賞し、全国大会に出場しました。改めてご内容をご紹介します。

### 『限られた世界の外で』 3年 □□□□

新型コロナウイルスが流行した2020年、私たちの生活は大きく変化した。学校は休校になり、楽しみにしていた行事もなくなり、友達と気軽に会うことができなくなった。世界中がどこか緊張状態になり、人々の表情には不安が浮かんでいた。私は、社会全体が恐怖におびえていることを強く感じた。そんな中で生まれてしまったのが、差別や偏見だった。特に私が忘れられないのは、医療従事者への差別だ。コロナ患者を助けるために懸命に働いている人たちが「うつすかもしれない」と責められてしまったのだ。

私の母は医療従事者だ。実際に「医療従事者の家族だから近づきたくない」といった声を耳にしたとき、私は胸が痛んだ。母のように毎日必死で働き、感染の恐怖と戦いながら患者さんの命を守っている人の努力を否定するような言葉を向けられることは、理不尽だと思う。もし自分や家族がその立場になったらどう思うだろうか。さらに、私はSNSで医療従事者を非難する投稿を目にした。匿名の非公式アカウントで「病院に働く人のせいで感染が広がっている」などと書かれていたのだ。それを見たとき、私はとても恐ろしいと感じた。自分の不安や怒りを、弱い立場の人にぶつけることで解消しようとする。そのような行為が、どれだけ人を傷つけるのか考えもしない。見知らぬ誰かの言葉であっても医療従事者やその家族にとっては大きな傷となるのだ。もちろん、私自身もコロナに感染することは怖かった。誰もが「うつりたくない」と思っていた。その気持ちは自然なことだと思う。しかし、その不安や恐怖が差別や偏見を生んでしまうのだと思う。自分の安心ばかりを優先して、相手を排除してしまう。それが差別の始まりなのだと考える。

本来なら、医療従事者は一番感謝されるべき存在だ。自分自身が感染するかもしれないという大きなリスクを背負いながらも、患者さんを助けるために働いてくれた。もし医療従事者がいなかったら、社会は成り立たなかったはずだ。だからこそ、その人たちを差別するのは、許されないことだと思う。私はこの出来事から、人権について改めて考えるようになった。人権とは、すべての人が平等にもっている大切な権利だ。安心して生活する権利や、尊重される権利がある。差別や偏見は、その人権を踏みにじる行為だ。そして、人権は平和なときだけでなく、不安や恐怖に社会が包まれているときこそ守られるべきものだと思う。私はコロナ禍から2つのことを学んだ。

一つ目は、正しい知識を持つことだ。感染症についてよく知らないまま「なんとなく怖い」という気持ちで判断してしまうと、「医療従事者は危ない」といった誤った考えにつながる。SNSやネットには不確かな情報が多く流れているため、そのまま信じてしまっては駄目だ。自分で考え、理解しようとするのが大切だ。

二つ目は、相手の立場になって考えることだ。差別をして

しまう人の多くは、「自分は感染したくない」という気持ちばかりを優先してしまう。しかし、もし自分の家族や自分が差別される側だったらどうであろうか。言葉にできぬほど辛いはずだ。相手の立場に立てば、差別や偏見は減ると思わないか。私はそう信じている。

「知らない」ということは人を傷つけてしまう。自分のものさしだけで人を判断する。自分の限られた世界だけで人の全てを分かろうとする。そうすると誤解や偏見が生まれ、差別やいじめがおこってしまうのではないか。自分の小さな視野に囚われてしまうことこそ最大の危険なのではないだろうか。私はこれから、自分の言葉や言動に責任を持っていきたい。言葉は人を傷つけるためにあるのではなく、人を安心させ励ますためにあるものだと考える。もし、差別や偏見が周りでおこったとき、世界中の人々が「あなたの行動はおかしい。」ということができたら世界は変わっていくと思う。コロナは私たちに大きな不安や恐怖を与えた。しかし同時に、私へ人権について深く考えるチャンスも与えてくれた。コロナ禍で得た経験も私たちは無駄にしてはいけないと思う。コロナさえも活かして教訓とした同じ過ちをおかさないように差別や偏見について考えていくべきだと考える。医療従事者のみなさんに向けて「ありがとう」の気持ちを忘れず、相手の立場になって物事を考える姿勢をもちつづける。そう私は心に誓った。

## 令和8年1月(睦月)の主な行事予定

- 7日(水) 3学期始業式、短縮3時間
- 8日(木) 短縮3時間、安全点検日
- 9日(金) 短縮5時間、給食開始、生徒朝会
- 14日(水) 委員会の日
- 15日(木) 学年朝会
- 16日(金) 英語検定
- 22日(木) 私立入試中心日 \*3年出席後に下校  
小中連絡会(大家小学校)
- 23日(金) 小中連絡会(浅羽野小)
- 24日(土)・25日(日) けやき作品展(文化会館)
- 27日(火) 県公立高校出願(~2/10)  
3年・三者面談、生徒朝会
- 28日(水) 3年・三者面談
- 29日(木) 2年・修学旅行①
- 30日(金) 2年・修学旅行②、1年・校外学習
- 31日(土) 2年・修学旅行

※ 詳細は、学校HPや学年だより等でご確認ください。

## 【校長室より】「令和7年を振り返り～今年の漢字～」

12年前に校長職につき久しぶりの中学校。数多の浅中生の笑顔と互いに協力し切磋琢磨しながら成長する姿が見られた。中学生の凛々しい姿に、懐かしさと新鮮さ、たくさんの感動を受けた日々であった。保護者・地域の皆様の多大なご支援。全てが当たり前ではないという思いを感じながら、確かな成果を実感することができた令和7年。自選の「今年の漢字」は「成長、成果」の『成』。浅中生たちの著しい成長の姿が、それを物語ってくれる。